

玉名市の取り組みについて

本市では、国のGIGAスクール構想のもと、これまで1人1台の学習用タブレット端末（以下「タブレット」という）の配備や、各教室などへの無線LAN環境の整備などを進めてきました。現在は、ICT支援員を配置するなど、ICT教育の適切な推進を図っているところです。今後は左に示すとおり、児童生徒の情報活用能力の育成、ICTを効果的に活用した授業改善、校務の情報化に取り組みしていきます。

※1 教職員が行う学校運営に必要な全ての仕事。

児童生徒の情報活用能力の育成	・情報機器の基本的な操作方法の習得と活用する力の育成 ・プログラミング的思考の育成 ・情報社会に主体的に参画する態度と情報モラルの育成
ICTを効果的に活用した授業改善	・ICTを活用した分かりやすく魅力ある授業づくり ・教員のICT活用指導力の育成 ・タブレット端末持ち帰りによる、授業と家庭学習を循環させる主体的な学習の推進
校務の情報化	・校務の効率化を図ることによる、教員と児童生徒が向き合う時間の創出 ・家庭や地域との連携・協力に向けた情報発信の推進 ・情報セキュリティ対策の徹底

タブレットの持ち帰りについで

「玉名市の取り組み」

GIGAスクール構想においては、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのないような個別最適化された学びが求められています。

本市においては、令和4年9月から全ての小中学校でタブレットの持ち帰りを開始しました。タブレットを学校での授業だけでなく家庭に持ち帰って活用することで、学校の学びと家庭での学びを結びつけることができ、子どもたちが自ら進んで学びを深めていくことができるようになります。同時に、タブレット

家庭でも活用して、配信された宿題などに取り組み、オンラインで提出することが可能になります。



▲アサガオの観察記録も今までは手書きでしていましたが、タブレットを活用して写真とともに記録できるようになりました

特集

GIGAスクール構想

Global and Innovation Gateway for All

「GIGAスクール構想」とは、令和元年12月に文部科学省が発表したもので、児童生徒および教員に対する1人1台の情報端末と学校内への高速大容量通信ネットワークの整備など、教育のICT化を進めることにより「多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない個別最適化された教育を実現していこう」という構想です。

教育長からのコメント



玉名市教育長
みくし かつよし
福島 和義

近年の情報技術の急速な進展に伴い、今の子どもたちには、情報や情報技術を主体的に選択し活用していく力が求められています。本市においては、情報教育の推進に当たって、ICT機器の環境整備に取り組み、子どもたちの学習状況などを踏まえながら学校と家庭での活用を進めています。また、情報教育を通じて、子どもたち一人一人が自分の良さや可能性を認識し、夢や希望の実現に向け、たくましく人生を切り拓くことができるよう、保護者や地域の人々からの理解と協力を得ながら取り組んでいきます。

GIGAスクール構想に関する問い合わせはこちら
教育総務課
(☎ 75・1133)



▲修学旅行で学んだことをまとめ、クラスメイトと共有します